

2023年度

# 年次報告書

一般社団法人 ケアと暮らしの編集社



# Annual Report 2023

# 暮らしの中にケアを編み直す

私たち、ケアは病院や特定の場だけのものではなく、すでにまちの中に存在していると捉えています。

仕事でのストレスを行きつけのカフェで話を聞いてもらったことで落ち着いたり、家族や友人を亡くし落ち込んでいても、ご近所さんや友達と話し共にいる日常があることで回復したりしていくプロセスは、今の地域社会にも存在しています。

ただ社会構造の変化によって、暮らしの中に、そういったケアしケアされるつながりが減っていっているのではないかと考えています。

私たち、ケアは生を肯定する営みであると捉えています。専門家の専売特許ではなく、地域に暮らすわたしたちのまちを良くしていきたいという市民性が発揮されてこそ、ケアしケアされる関係性が編み直されていきます。

いうなれば、暮らしの中にケアを編み直す。それが私たちの役割です。

ケアと暮らしの編集社という名前はそうして生まれました。

少し長い名前なので、「ケアくら」と呼んでいただけると幸いです。

## ケアと暮らしの編集社



## VISION

街に暮らすことで  
気づいたら「Well-being」になっている社会

## MISSION

ケアするまちをデザインする

### ケアくらが行う3つのアプローチ



#### 人のエンパワメント

専門職も非専門職も、暮らしの中で一人一人のまちをよくしたいと思う「市民性」やケア的なマインドが発露される機会を作ります。



#### 場のデザイン

暮らしの動線上に、ケアしケアされる包摵的な場や共同体、あそこにいけばなんとかなりそうという信頼できる居場所としての公共空間をデザインします。



#### まちのデザイン

まちを舞台に、市民や当事者、企業や行政などのケアするまちを作るプレイヤーらを支援し、共に共創できるよう、中間支援的な役割を果たします。

### 大切にしていること

#### つながりを共に作る

一方的につながりを押し付けるのではなく、市民や当事者と共に信頼し合いながら、作っていく過程を大切にします。

#### 表現を後押しする

小さな願いを肯定し、市民も専門職も、誰もが自分らしい表現ができるよう背中を押します。

#### 当事者性を醸成する

誰もが損得勘定によらず、やろうと思える内発性が育まれることを大事にします。

#### ケアするされるを超える 関係性をつくる

ケアする側、される側と分けず、横並びになったり、時に関係性が逆転したりする瞬間や関係性を大切にします。

#### 一番遠くにいる人を 気にかける

気にかけることは、ケアの第一歩です。目の前にいない人も今どうしているかな?声をかけてみようかなと気にかけることを心に留めます。



図書館型地域共生拠点  
本と暮らしのあるところ

## だいかい文庫

だいかい文庫は、2020年12月から兵庫県豊岡市の駅通商店街の一角で運営しています。既存の制度上にある縦割りの医療福祉の相談の場、マイノリティの居場所ではなく、本というテーマに共感した人がカテゴリーに関係なく集まれる図書館です。無料で利用できる館内は、本を読んでも、人と話しても、本を借りに来るだけでもいい自由な空間になっています。図書館、居場所、お店番という役割を持つ場など、本が好きなら誰でも自分に合った使い方ができます。0歳から90代までの、若者、高齢者、失業者、障害者、移住者等の様々なカテゴリーの地域住民が利用しています。

### だいかい文庫の役割

だいかい文庫では、自分の過ごし方を自分で選べます。職業や年齢に関わらずただそこにいることができるこの空間は、誰もが安心して過ごせる場所となっています。孤独や孤立を感じやすい現代の日常の中で、来館者として本や人と会ったり、お店番をすることで普段は体験できない新しい自分の役割を見出したりと、その場にいる人がケアしケアされる場の一員となっていきます。

1

つながりと役割が持てる場

2

自己表現ができる場

3

市民性が育まれる場



### 一箱本棚オーナー制度とは

だいかい文庫の貸出本は、すべて一箱本棚オーナーさんからのおすすめ本です。「一箱本棚オーナー制度」は、月々定額の料金で本棚をレンタルし、お気に入りの本を並べ、利用者はその本を無料で借りることができます。オーナー自身の本を通じた自己表現の場となることを狙っています。

一箱本棚オーナー数

94組

本の貸出人数

1,824人

※だいかい文庫開設～2024年3月31日までの実績

### 利用者からの声

#### だいかい文庫に通うKさん

(30代男性/豊岡市在住)

本や飲み物だけなら町の本屋や公立図書館で事足りるなか、私がだいかい文庫を利用する意味は、年齢や立場に関係なくつながりを持てる特別な空間だからです。利用の仕方も型に嵌らない、気軽に出会い関われる場所。ちょっと時間が空いたらふらっと立ち寄り、誰かがいてくれる。そんな素敵なお手本を続けて欲しいです。

#### 一箱本棚オーナーのOさん

(50代女性)

本棚オーナーであることは、自己表現の一つです。自分の棚の本を手に取ってくださる方に自分の思いが伝わるようで心が躍りますし、本の感想カードが届いた時には嬉しくてスキップしそうになります。本棚を名刺がわりに、初対面の方と話が弾むことも。自分の生活圏にはない出会いのチャンスもたくさんあって、楽しいです。

#### だいかい文庫ファンのEさん

(50代男性/和田山市在住)

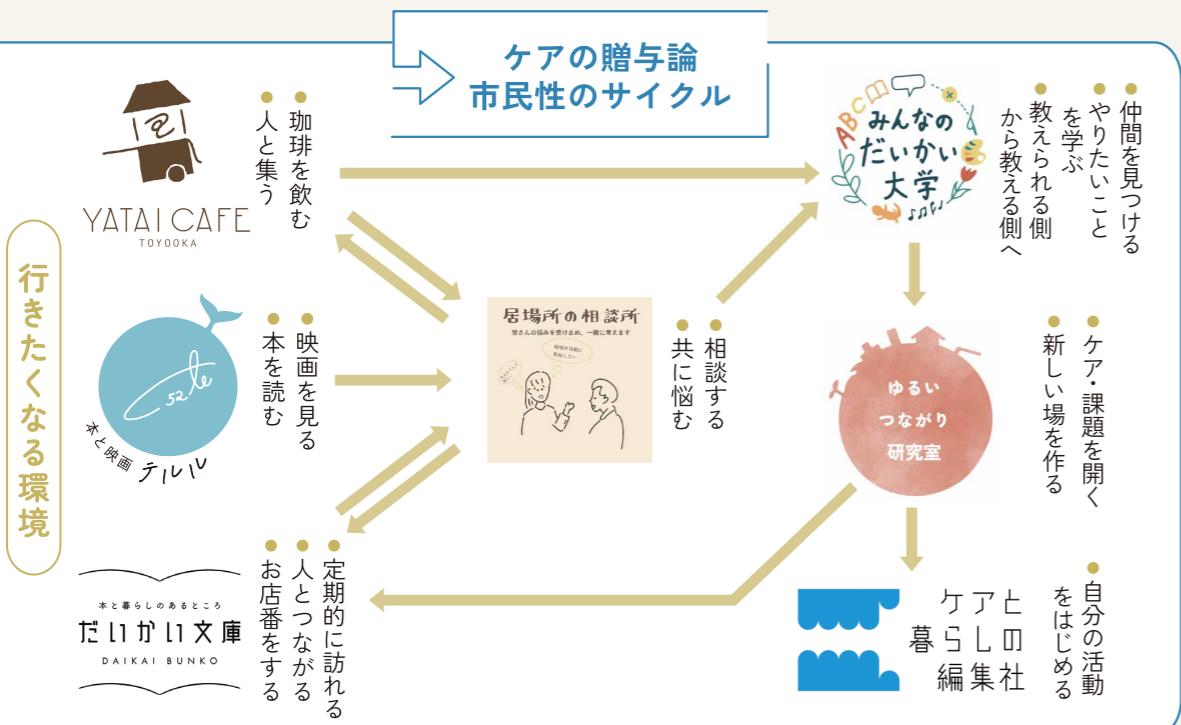
友達の紹介でだいかい文庫を知りました。だいかい文庫ではこれまで作ってきた作品を展示するきっかけをもらい、自己表現を始めたことで、積極的な自分の一面の発見や、これまでにない方々との出会いがありました。また、私は心優しい方が集まるこの空間でいつも癒されていますので、色々な方に来て欲しいです。

#### だいかい文庫常連のFさん

(40代男性)

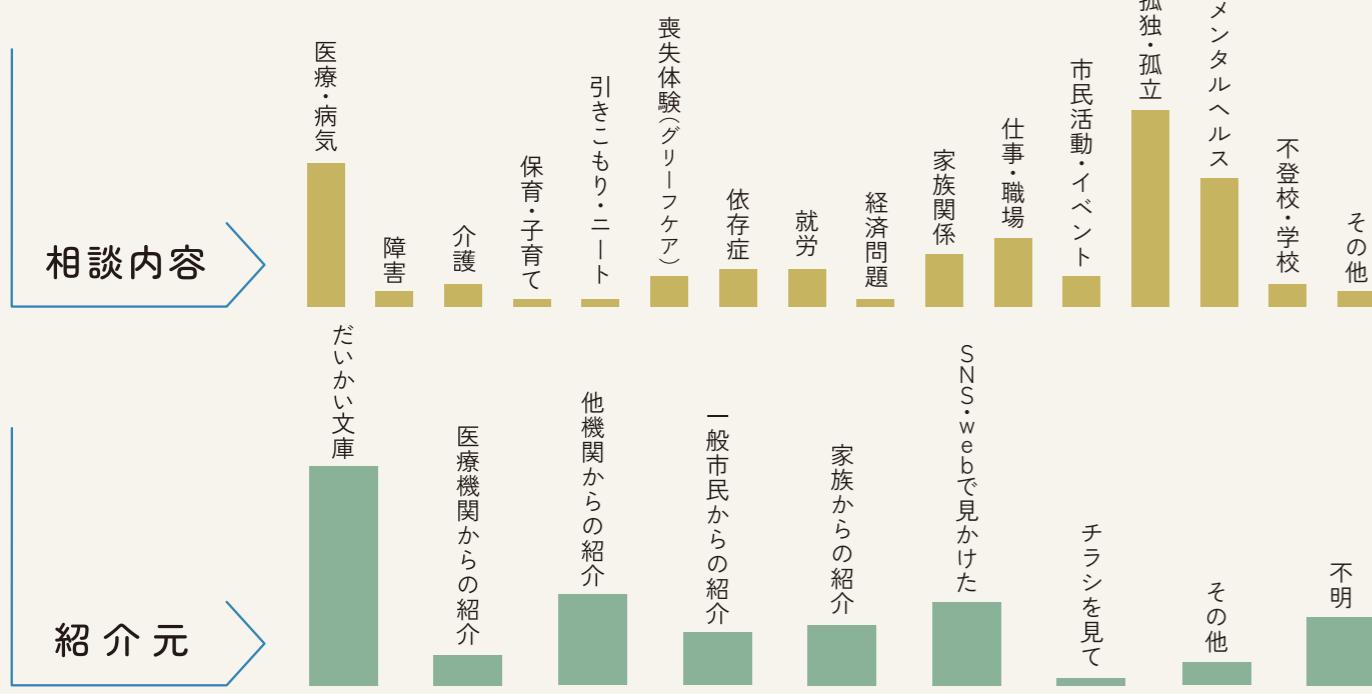
だいかい文庫に来てからたくさんの方と知り合って、とても嬉しいです。中にはだいかい文庫以外で遊びに行くつながりもできました。時々、対人緊張が出てしまい、しんどい時もありますが、スタッフの方に優しく声掛けをしていただけて感謝しています。





# 暮らしの中の悩みをともに考える 居場所の相談所

居場所の相談所は、週1回程度、医療福祉専門職が健康や孤独などの相談に応じる場です。居場所の相談員は、地域に点在するコミュニティやサービスとつながり続け、必要とする方に紹介するなど、社会的処方を担う「リンクワーカー」として機能しています。



# 認知症の方とご家族様とを一体的に支援する 認知症ミーティングセンター おでかけ

認知症ミーティングセンター「おでかけ」は、認知症の方と家族の関係性を改善する新しいプログラムです。活動の中心に3つの柱があります。



# 1 一体的支援

認知症の人と家族がともに活動をする時間を持ち、思いを共有する機会を作ることで家族の関係性を深める

## 2 本人支援

本人が楽しめる活動の機会を作り、社会参加の機会を作ること

# 3 家族支援

専門職スタッフが介護等の相談にのり、家族同士で話す機会も設けることで、悩み解決につながる

また、活動に参加した方に社会的処方として地域のコミュニティを紹介することもあり、これはケアくらならではの関わり方だといえます。

「居場所の相談所」で相談したAさん(40代男性)

最初に相談に来られた際は休職中だったAさん。

「統合失調症発病後、自ら周りと距離を置いてしまった。地域の精神障害者支援施設にも通っているが、その他にも友人や居場所が欲しい」という内容で相談に来られました。相談に来られてからだいかい文庫に通ってくださるようになり、顔見知りも増え、知り合いが少しずつできて笑顔で会話している姿が多く見られるようになりました。その後だいかい文庫でインターンとしてお店番を希望され、コーヒーを淹れたりお客様とお話しする過程で再就職先も決まり、今でもお仕事とだいかい文庫のインターンを続けてくださっています。さらに「みんなのだいかい大学」の講師を希望して自分の講座を企画したり、だいかい文庫でのお店番時はお客様の相談に乗る姿も見受けられるようになり、ケアされた経験を経て次はケアする側、支える側に回っていて、その変化にご自身も周りの皆さんもよかったですと話されています。

## 学び合い、 好きをシェアする市民大学



### みんなのだいかい大学の開講

疾患や障害のあるなしにかかわらず、誰もが教えたり、教えられたりすることができる社会包摂型市民大学です。当事者性が發揮されることを目的とし、自分の得意なことや好きなことをテーマに自己効力感や自己表現、つながりを促進します。

#### 事業マネージャーの佐藤から

普段の生活では話す機会がないような自分の経験を打ち明けたら、それが自信につながる。趣味や特技についてのびのび話したら、仲間が出来て毎日が少し楽しくなる。みんなのだいかい大学は、誰もが持つ可能性の種の芽が出る場です。これからも、講師の皆さんと一緒にこの場を耕していきたいです。



講師の人数

31人

参加者数

186人

開催した講座の例

- ・メルカリ紹介講座
- ・明日から使える、アニメの名言
- ・ギャンブル依存症って何？
- ～私の体験談～

※開講～2024年3月31日までの実績

### 「だいかい大学」で講師を務めた方の体験談

40年以上連れ添った妻を癌で失い、訪問看護師さんの紹介で「だいかい文庫」に出会いました。だいかい文庫には「居場所の相談所」があり、メンタルケアや医療経験豊富なスタッフが相談に乗ってくれました。自分の悩みに関連する本も多く、自分を見つめ直す時間が作れます。その中で、「みんなのだいかい大学」の取り組みが私に大きな変化をもたらしました。ゴルフをテーマにした講座の講師をすることを提案され、スタッフと準備を進め、開催することができました。講座企画にはだいかい文庫や他のところでもだんだんと話せる人が増え、他の人のだいかい大学にも参加するようになり、自分が役に立つと思ったことで新たな行動を起こせるようになりました。だいかい文庫での経験を通じて、多くの人と知り合い、ゴルフの打ちっぱなしにみんなで出かける企画もできました。最初にだいかい文庫を紹介してくれた訪問看護師さんに元気になったことを報告もできて、新たな人生が始まったと感じています。



### ケアまち実験室の運営開始

ケアやまちづくりにまつわる人々が交差することで相互の専門性を学び合い、新しいスキームやデザイン、場を生み出していくオンラインコミュニティです。ケアまち実験室には、ケアとまちづくりに関心のある多様な領域のプレイヤーの皆さんがあります。

医療福祉専門職を中心に、デザイナー、行政職員、建築関係、地域づくりなどそれぞれの実践や知恵を持ち寄りながら、ケアとまちづくりの接点における様々ななかたちを模索しています。

参加者数

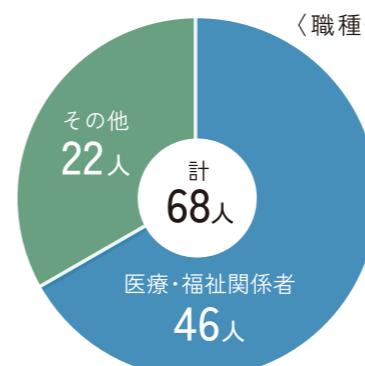
68人

イベント開催数

21回

※運営開始～2024年3月31日までの実績

#### 参加者の職業割合



※運営開始～2024年3月31日までの実績

#### 実践へつながる3ステップ

1

それぞれの専門性や活動を もちよる

2

実践家・専門家による座談会で まなぶ

3

まなびを振り返り、対話し、実践値に ふかめる

#### ケアまち実験室の参加はこちら

お申込とお支払い確認後、オンラインコミュニティ(slack)へ招待いたします。  
ケアとまちづくりにご関心がある方は、ぜひ実験室にご参加ください！



「どこでもドア」のような安全基地を拠点に  
世界を広げていく



2023年の  
TOPIC  
**3**

## ユースセンター事業の始動

### 10代の「安全基地」を豊岡市につくる

図書館型地域共生拠点の「だいかい文庫」と、近くにあるコミュニティシネマ「豊岡劇場」で、ユースセンター事業を始めました。本や映画といった多様な物語と文化を入口に、10代の子ども若者自身の孤独が解消され世界が広がっていくきっかけが生まれる場所です。

#### 目指すユースセンター像

物語のある「どこでもドア」のようなユースセンター

##### ●ドアの先に

他者・地域・社会のつながり  
子ども自身の生き方がひらく  
子どもも大人も生き心地のよい豊岡

##### ●ドアノブ=物語（映画・本）

他者とつながるきっかけ



##### ●誰かとドアを開く

同世代や伴走者、多様な人と  
一緒に表現をしてみる

#### 「10代が中心の場」を豊岡に

昼間、行く場所に迷ったとき。  
放課後、どこかに寄りたいとき。  
気まぐれに訪れられるところ。  
10代にとってのそんな場所がなかったので、つくりました。家庭でも学校でもないからこそその時間の過ごし方や、ほどよい中距離コミュニケーションが生まれるところです。

#### 事業マネージャーの鈴木から

本や映画の中は自由です。親や友人とも離れ、自分が置かれている状況とも離れて、物語の中では何者にだってなれます。主人公と一緒に一喜一憂したり、登場人物に憧れたり、ライバルに腹が立ったり。そして心を揺らし湧いてくる感情を味わうことそのものを保障していきたいと思います。



## ケアくらは法人設立3周年を迎えました



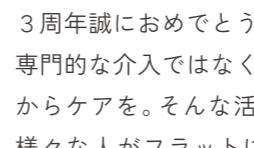
運営メンバーより



おかげさまでケアくらは、法人設立から3周年を迎えることができました。今後ともよろしくお願いします！



理事  
孫 大輔  
鳥取県在住



3周年誠におめでとうございます！  
専門的な介入ではなく、身近な暮らし  
からケアを。そんな活動だからこそ、  
様々な人がフラットに協力できるん  
ですね。

これからも応援しています！



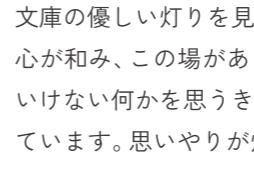
理事  
藤岡 智子  
長野県在住

自分の「好き」と誰かの「好き」が重ね  
合わせられると、自然と誰かのために  
動く集合体ができるでいく。コミュニティ  
は目的ではなく結果ですね。

3周年、おめでとうございます。



監事  
大槻 恭子  
兵庫県在住



文庫の優しい灯りを見るたびにほっと  
心が和み、この場がある事で忘れては  
いけない何かを思うきっかけにもなっ  
ています。思いやりが灯り続けるこの  
場を地域の宝物として大切にし続けた  
いです。3周年おめでとうございます！



お店番  
みずしまさん  
兵庫県在住

3周年おめでとうございます。  
だいかい文庫や大学で活動でき、だい  
かい文庫に出会えて幸せです。  
今後もみんなの心のよりどころでいて  
ください。



お店番  
あゆみさん  
兵庫県在住

ケアくら3周年おめでとうございます！  
お店番をさせていただいて、たくさんの  
新しい人の繋がりができました。  
今後、ますますのご発展をお祈りして  
います。



一箱本棚オーナー  
市原真/病理医ヤンデルさん  
北海道在住

豊岡に立ち寄るための用事をずっと  
考え続けています。  
もうすぐ思い浮かびます。



プロボノ  
芦田 遥陽さん  
神奈川県在住

法人設立3周年おめでとうございます！  
これから、じっくりケアくらと関わっ  
ていけることが楽しみです。豊岡の皆  
さん、ケアくらの皆さんよろしくお願  
いします！



プロボノ  
恒本 茉奈実さん  
岐阜県在住

暮らしの中にケアを編み込む活動に  
関わること自体が、私にとっても  
ケアになっています。

3周年おめでとうございます！  
これからもよろしくお願いします！



ケアくらメイト  
船戸 一晴さん  
京都府在住

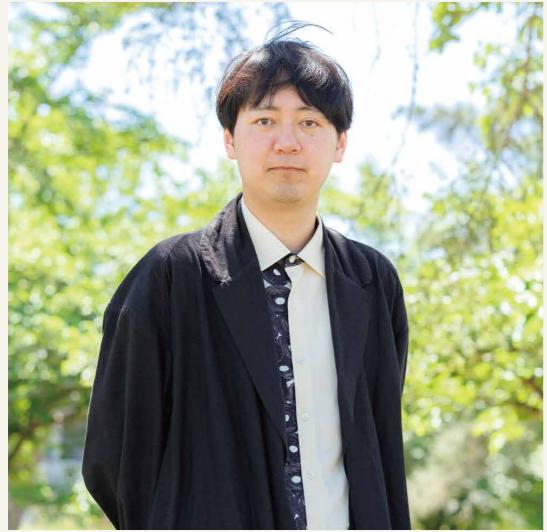
3周年、おめでとうございます。  
「暮らしていたら、自然と健康になっ  
ていた」まちを実現する活動、いつも樂  
しみに拝見しています。薬剤師として  
心から共感し応援しております！



ケアくらメイト  
Nさん  
兵庫県在住

3周年おめでとうございます。  
「だいかい大学」やユースセンターなど  
新しいことに次々と取り組まれていて、  
今後の展開も楽しみです！

微力ながらケアくらメイトとして応援  
しています。



## 2023年度の出版情報

## 論文

だいかい文庫の取り組みを論文化しました。

『コミュニティ図書館を起点とした社会的処方の取り組みと住民およびコミュニティへの効果』Y. Morimoto. Social Prescribing Initiative at Community Library and Its Impact on Residents and the Community: A Qualitative Study. Prim Care Community Health. 2023

## 共著

『みんなの社会的処方』学芸出版社. 2023

## 2023年度の登壇情報（一部抜粋）

SHIP運営事務局主催「Healthcare SHIP Social Meeting」/ 兵庫県すごいすと オンラインイベント / 自治医科大学医学部5年生授業公衆衛生学 / 皇學館大学図書館学 / 獨協医科大学 / 日本公衆衛生学会シンポジウム / 日本ホスピス・在宅ケア研究会 / 全国こども食堂支援センター・むすびえ オンラインイベント / 日本医療デザインセンター / こども家庭庁 / 徳島県 / 神戸市クリエイティブデザインセンター / 可児市文化創造センター ala / greenz

ケアと暮らしの編集社の取り組みは、瓶の中の水のようだと言われます。瓶は地域の困りごと。そこに制度やサービスとして積み木を積み重ねますが、隙間が生まれます。私たちはその隙間を埋めるように、水のように形を変えながら、アクションを続けています。不登校、子どもの居場所、孤独・孤立、認知症が地域で暮らす、相談のハードルを下げるといったことです。あるときは相談にのり、あるときは人と人をつなげ、あるときは新しい場を作ったりしています。制度に囚われずに、まちの中で暮らしている中で、気づいたら、人とつながっていた、自分らしい表現ができていたというケアが溶けている地域社会が豊岡市で広がりつつあります。3年間、取り組みが広がる中で見えてきた暮らしの中の「ケア」の形を、今後、全国に広げていく取り組みも行っていきたいと思います。

## 守本陽一（もりもと よういち）

一般社団法人ケアと暮らしの編集社 代表理事

## 経歴

1993年、神奈川県生まれ、兵庫県出身。医師。自治医科大学医学部医学科卒業。京都芸術大学大学院学際デザイン研究領域修了（芸術修士）。

## 受賞歴

2021年 6月 まちづくり功労者国土交通大臣表彰  
2022年10月 グッドデザイン賞審査員賞受賞  
2024年 4月 ForbesJAPAN誌「100通りの『世界を救う希望』NEXT100」選出



## 今後の展望

## 日本全国で、暮らしの動線上にケアの入口をつくる

豊岡市近辺での対面活動に加え、ユースセンター事業をはじめとした様々な世代へのケア的な場やつながりの機会を強化していきます。また、ケアとまちづくり人材がつながり、ケアの場やまちが全国に広がることを目指すために、中間支援活動の強化にも力を入れていきます。

## 2024年の事業展開

## 1

## ケアとまちづくりを取り巻くりサーチ事業の実施

## 2

## 研修・共創による中間支援機能の全国展開

ケア人材とまちづくり人材の接点を探っていき、リサーチし、場づくりを行う人々へのサポートを行う中間支援機能を強化していきます。

## 3

## オンラインコミュニティのケアまち実験室や研修事業、プロジェクト単位のアドバイザー等を通じて、暮らしの中にケアが溶けていく場づくりや取り組みが全国に増えていくことを目指します。

## 全国でのケアの広がり・事例

## 1

全国から  
だいかい文庫等への視察

累計訪問数 ▶ 78名

医学生、獨協医科大学、名張市、新公益連盟、西部ガス etc...

## 6

養父市で  
社会的処方推進課の設置

④ 社会的処方  
推進課

兵庫県養父市

## 4

## 2

東京都医師会リンクワーカー  
養成講座開催のアドバイザー

東京都

## 5

シェア型図書館  
「ほんむすび」の開設支援

大阪府大阪市天王寺

## 3

千葉県検見川の新規診療所  
開設支援

千葉県千葉市

## 4

第三回ケアとまちづくり  
未来会議の開催

京都府京都市

# 2023年度のメディア掲載

## 新聞・広報誌

- 2023/5/9 神戸新聞 NEXT でだいかい文庫が掲載  
2023/10/6 中日新聞で弊社代表守本のインタビューが掲載  
2023/12/28 広報紙「県民だよりひょうご」にてだいかい文庫が掲載

## WEB(一部抜粋)

- 2023/11/01 マガジンハウスのウェブマガジン「こここ」に代表守本のインタビュー記事が掲載  
2023/12/18 医学界新聞に「社会的処方の現在地とこれから」として代表守本の対談記事が掲載  
2023/12/30 NPO法人ETICのウェブマガジン「Driveキャリア」に10代の安全基地を作るユースセンター事業についての記事が掲載  
2024/03/15 兵庫県公式のメディアサイト「ひょうごビジョン2050」に代表守本のインタビュー動画が掲載

## 協働企業・団体

- 株式会社 STYZ / PRTIMES / ちば内科・脳神経内科クリニック  
平成医療福祉グループ / 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック  
Good Neighbors Company / 一般財団法人ひふみ会 まちだ丘の上病院  
おうちの診療所 / 医療とアートの学校

## 加盟団体・ネットワーク

- 新公益連盟  
Techsoup Japan  
本棚お助け隊

## 助成プログラム

- 株式会社 PoliPoli Policy Fund 基金 / 認定NPO法人カタリバ ユースセンター起業塾 事業創造コース  
公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 ひょうご市民活動応援基金  
NTT Date 地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査  
※ 50音順

## マンスリーファンディングのお礼

2023年6月19日から一ヶ月間開催した、だいかい大学運営開始のためのマンスリーファンディングでは100名以上の方から応援をいただきました。温かい応援をありがとうございました。

松岡 友美 / 中奥 みゆき / 谷 友紀子 / 石井 洋介 / 三浦 吉道 / 大森 ゆか / 山本 真貴 / 長谷川 毅 / 嶋田 学 / 加藤 貴之  
茨木 隆宏 / 土井 寛子 / 吉野 敏博 / 岡本 綾香 / 伊木 翔 / 古武 成美 / 简井 多愛 / 石丸 勝之 / 末廣 晓 / 中川 玄洋  
西岡 大輔 / 河村 竜也 / 若林 碧子 / 堀田 一希 / 船戸 一晴 / 島田 義弘 / 古賀 弥生 / 倉田 和則 / 國谷 祐子 / 佐藤 徹  
煎塚 さゆり / 岡本 知美 / 神内 千温 / 廣瀬 達也 / 柴田 なるみ / 市原 真 / 株式会社 Good Support Nuse 荏原 優子  
野津 直樹 / 森田 喜代子 / 三木 葉月 / 守本 壽男 / 橋本 康太 / 三文字 昌也 / 上村 直人 / 西垣 崇史 / 中田 恵 / 八田 和子  
森 喜恵 / 浜上 知宏 / 高橋 雅樹 / 奥谷 はるか / 松原 菜美子 / 天野 恵司 / 柳 尚夫 / 新井 隆太 / 橋本 泰樹 / 下釜 みづき  
イマイ ヒロコ / 中島 梨沙 / 山西 黙平 / 本間 智希 / 金川 信亮 / 太田 博章 / 永井 美穂 / 鈴木 公貴 / 水口 大輔 / 小川 紗嬉  
村松 圭司 / 佐伯 勝巳 / 谷口 鮎美 / 桑村 美里 / 矢坂 幸枝 / 緒方 理子 / 田中 亜衣子 / 富士田 一也 / 宇戸谷 翔太 / 小畠 仁美  
コトブキ荘 松宮 未来子 / 株式会社アンズケア 秋山 一平 / 宮脇 亜矢 / 田路 智子 / 榎本 雄太 / 中村 貴大 / 内川 宗大

ご寄付いただいた方

暮らしの中にケアが溶けているまちをともにつくる

## △ケアくらの仲間として活動しませんか△

ケアくらが目指す未来をともに作っていく仲間を募集しています。

寄付やコミュニティへの参加など、あなたにあった応援の方法をお選びいただけます。

個人

個人の方の応援方法

法人・行政

法人・行政の方の応援方法

## 寄付で応援する

個人

法人・行政

### ① 継続寄付による応援

毎月ごとの定額寄付です。途切れることなく活動を続けていくために必要なご寄付です。



木谷 百花さん  
『旅するモヤモヤ相談室』編者

#### ケアくらメイト(継続寄付者)の声

コーヒーと木の香りがふわりと心地よい空間で、年代も属性もバラバラの面々が集って本を読んでいる...そんな温かい居場所を「ケアくらメイト」として応援し続けたいと思っています!

### ② 1回ごとの寄付による応援

お好きな金額、タイミングでご寄付いただけます。



寄付回数は上記ページの「頻度」項目で選べます。

①継続寄付の場合  
毎月を選択

②1回ごとの寄付の場合  
今回のみを選択

## 参加で応援する

### ① ケアまち実験室に参加する

個人

ケアとまちづくりに関心のある人や実践者が、知恵やスキルを持ち寄り、深めていくオンラインコミュニティです。



### ② ケアくらに研修を依頼する

法人・行政

代表理事の守本による、地域での社会的処方実装に向けた研修を依頼いただけます。

お申込方法 まずはお問い合わせください

### ③ 一箱本棚オーナーになる

個人

月々定額の料金で本棚をレンタルし、お気に入りの本を並べ、利用者はその本を無料で借りることができます。



### ④ ケアくらと共創する

法人・行政

企業や行政と連携した共創プロジェクトの実施を募集しています。

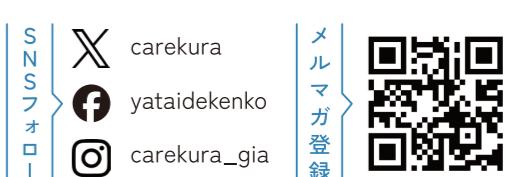
ご連絡方法 まずはお問い合わせください

### ⑤ ケアくらの最新情報を受け取る

個人

法人・行政

各種SNSやメールにて、ケアくらの最新の活動状況やメンバー紹介など独自のコンテンツも発信しています。





## 一般社団法人 ケアと暮らしの編集社

〒668-0033 兵庫県豊岡市中央町6-1  
本と暮らしのあるところ だいかい文庫  
✉ info@carekura.com



Website

